

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.4 成果
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価 (就職先の評価、卒業生評価)
小項目	6.4.2 学位授与 (卒業・修了判定) は適切に行われているか。
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策 (院) (専門)

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学生が定期的に研究成果を紀要等に公表しているか否かを検証する	→学生1名あたりの業績年間アウトプット数	A	A	A		
2. 学位審査で公開方式のプレゼンテーションを行う	→公開プレゼンテーションの開催率と参加者数	D	A	A		
3. 就学の基礎となる年限での博士学位の取得者割合	→就学3年次終了時における博士学位取得者の割合	D	B	C		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	本研究科発行の『経営戦略研究』、『ビジネス&アカウンティングレビュー』(査読付)のほか、学会誌に本課程の学生が積極的に投稿し、採択されている。2年次に行われる専門学力試験(2011年度入学生まで)又は総合学力試験(2012年度以降入学生)には、受験資格として論文1件が課せられており、また、博士論文請求には論文2件が課されていることもあり、学生の論文投稿は積極的である。
目標2	2011年8月に、博士課程請求者1名を対象に2時間程度の公開審査・発表会を開催した。主査、副査に加えて、教員、学生の多くが出席し、公開制、透明性を確保して、学位授与審査が行われたと考えている。
目標3	平成23年度には、就学期間3年を終えて、さらに半年弱の研究員在学の上、博士号を取得している。該当者が社会人であることを考えれば、この期間での博士号取得は特筆すべきことと考えられる。
備考	